

講義名	研究演習				
講義コード	45418	授業形態		開講期・曜日・時限	通年 木曜日 5時限
担当教員	中山 一郎			ゼミバッキング・コード	SEM350

学部・学科	演習分野
全学部・全学科（学部・学科は問いません）	中山一郎ゼミナール（キャリアカウンセリング、キャリアヒストリー、ライフヒストリー、ファミリーヒストリー）

概要説明

中山ゼミの研究演習（卒業研究）の目的は、キャリアカウンセリングの理論や支援スキルを学び、理解し、修得する行為をとおして、これまで生きてきた人生を改めて振り返りながら自身が抱える、あるいは抱えてきた問題意識に気づき、「問い」（リサーチ・クエスチョン）を立てて、その「問い」に対する研究活動をおこなっていきます。

カウンセリングには「心理」を対象としたものと「キャリア」を対象としたものがあります。共にカウンセリングという支援スキルを活用しての対人援助という意味では同じ行為です。しかし「心理」の場合には個人の人格の変容や行動の大きな変化、または感情の変化などを目的としています。一方「キャリア」の場合は明確に特定された生き方や働き方などのニーズや問題を扱い、解決するといったことが目的となります。

まず、研究演習 では、「キャリア」を対象としたキャリアカウンセリングの理論や支援スキルの基本を学んでいきます。そこで学んだ理論や支援スキルを自身にも落とし込みながら自己を探索し、理解を深め、引いては自身の問題意識の所在を発見・明確化し、最終的には「問い」（リサーチ・クエスチョン）の設定までをひとまずの目標とします。

次いで、研究演習 では、研究演習 で設定した各個人で興味や関心のある「問い」（リサーチ・クエスチョン）について、調査方法の基本を学び、毎回のゼミにおいて研究活動の状況や成果を随時報告（プレゼンテーションとレジュメの提出）してもらいます。

最後に、研究演習 （卒業研究）では、研究演習 で実践してきた研究活動をひとつのカタチや成果（論文、レポート、プレゼンテーションなど）としての完成を最終目標に取り組んでいます。

また、実践内容に関してはまだ未定ですが、ゼミとして社会創生プログラムや社会連携事業などにも積極的に参画していき たいと考えています。進路や就職支援にも積極的に取り組んでいきます。キャリア支援課が主催するセミナーや説明会などには積極的に参加していただきます。

主な卒業論文のタイトル

2025年度の研究演習 におけるゼミ生の研究活動の一部紹介します。

ファミリーヒストリー（母と家族について）
 ファミリーヒストリー（母方の家族に受け継がれる歴史）
 キャリアヒストリー（転職経験者から学ぶ転職の実体験）
 ライフヒストリー（O・Jのライフヒストリー）
 ライフヒストリー（T・Iのライフヒストリー）
 ライフヒストリー（Y・Sのライフヒストリー）
 大学スポーツとキャリア形成の関係について
 レアル・マドリッド（強さの歴史とその要因）

などです。

教員からの要望

「生き方」や「働き方」の正解がたった一つだけではないという「新しい時代」や「新しい社会」がやってきました。そのような中、皆さん一人ひとりが充実した大学生活を過ごし、さらには充実した生き方や働き方を表現していくためには、果たしてどのような知恵や知識、能力やスキル、姿勢や態度が必要なのでしょう。ゼミ活動をおして、皆さんの〈今〉や〈これから〉をいっしょに考えていきましょう。

新しく友達を作りたいと思っているひと、充実した大学生活を過ごしたいと思っているひと、大学生活を今いちどリセットとしてこれからがんばりたいと思っているひと、自分自身の進路や就職、自分自身の人生、生き方や働き方について真面目に考えてみたいという人を歓迎します。

このゼミ活動をおとして、大学生活の軸となる勉学はもとより、クラブ・サークル活動やアルバイト、そして来るべき就職活動やビジネス活動の現場においても求められている知恵や知識、能力やスキル、姿勢や態度を身につけていってください。

研究活動をおとして、ひとりの人間として共に成長していきましょう。

選考方法

選考は「提出された書類」と「個別面接」（特に志望理由）で決定します。

評価方法

評価方法は、研究発表（プレゼンテーションとレジュメ）
 提出物（レジュメ、レポート、論文、PPデータ資料など）
 出席状況
 平常点（個人としての学習意欲や態度、グループ活動への協力、ゼミ活動への貢献など）

授業回数の1/3以上の欠席者については評価を「D」とする。

教員英字氏名	研究室
Nakayama Ichiro	研究棟 5413研究室

最終学歴

大阪大学大学院人間科学研究科人間科学専攻博士前期課程(人間科学修士)

学位

修士（人間科学）

主な研究活動・社会活動・研究業績

研究活動 2026年現在：
 キャリアカウンセリングの理論や支援スキルに関する研究
 ファミリーヒストリー（家系史学）からイエや自己のキャリアを見つめ直す
 中世の赤松氏一族の研究

社会活動（ボランティア）：
 キャリアカフェ後庵主宰（若者、フリーター、障がい者等のキャリア形成支援）

主な研究業績：
 (著書)
 『イチロー先生のキャリア物語 - 知恵の一滴』(単著、ジユンク堂書店、2000)
 『大卒フリーター問題を考える』(共著、ミネルヴァ書房、2005)
 『キャリアカウンセラー養成講座 CDA受験対策テキスト6』(共著、日本マンパワー、2007)
 『キャリアコンサルタント養成講座 CDA資格(キャリアカウンセラー)対応テキスト5』(共著、日本マンパワー、2016)
 『エピソードの就活 - キャリアカウンセラーが教える7つのステップ-』(単著、晃洋書房、2017)
 (研究ノート)
 「士師業を目指す学生へのキャリア支援を考える - 薬剤師を事例として - 」流通科学大学論集・人文・社会・自然編 第29巻第2号 (2017)
 (論文)
 「系譜学を活用したキャリア形成の事例研究、見えざる家督を承け継ぐ。」流通科学大学高等教育センター紀集要 第2号(2017)
 「こころに響く授業とは - キャリアデザイン科目の授業評価より。」流通科学大学高等教育センター紀集要 第3号(2018)

趣味・特技

趣味
 読書、猫、散歩、サッカー観戦、落語、純喫茶巡り

特技
 特にありません

所属

人間社会学部 人間健康学科

所属学会

日本ビジネス実務学会、日本家系図学会、淡路地方史研究会

専門分野

キャリア教育、キャリアカウンセリング、キャリアデザイン、就職支援、インプロ（即興演劇）、職業指導、家系史学

担当科目

キャリア基礎論、キャリア実践論（3年生）、キャリア実践論（4年生）、オフキャンパスプログラム、オフキャンパスプログラム、キャリアビジネス論、研究演習、研究演習、卒業研究、教養特講（人間健康学科へのいざない）、基礎能力（新聞を読む）、基礎能力（コミュニケーションの基礎）

備考

ゼミはグループワークが基本となりますので、メンバー一人ひとりにはさまざまな「役割」や「担当」を担っていただくこととなります。ルールをなす人、責任感が欠如している人、他のメンバーに多大な迷惑をかけてしまうことにもなりかねません。ゼミを運営していく上での、最低のルールやマナーをきちんと理解し、協力していただけるという学生さんが選考における条件とします。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり。
 具体的な事例やケーススタディーを紹介します。